



開知

令和5年12月20日号

佐世保市立世知原小学校
校長 兼 正晴

もちつき

子どもの頃、家でもちつきが行われていた。

私の仕事は、火の番だった。

鉦で薪を作りながら、ずっと火の番をしていた。

大人は、もちつきをがんばっていた。

その中に、必ず「きゃあさし名人」「もちちぎり名人」がいた。

もちつきをするには、準備から片づけまでの段取りがある。

段取り次第で、物事の良し悪しは決まるような気がする。

残念ながら、私は「きゃあさし」ができません。

きゃあさしをする人



「きゃあ」のつく世知原方言

きゃある（帰る）、きゃあくされ（ふてくされ）、きゃあて（書いて、貸して）

きゃあまぐれ（失神）、ぎゃあなか（わんぱく・いたずら）あぎゃん（あのよう）

☆☆世知原小アレコレ、「柱時計」について☆☆☆



1層の展示棚の中に「大きな柱時計」があります。この時計は、昭和39年にある先生が在職記念として学校に寄贈された柱時計です。とても大きくて堂々とした時計です。漆黒色が歴史の重みを感じさせます。

この先生は、明治45年（1912）4月から大正5年（1916）5月、そして大正7年（1918）1月から昭和9年（1934）3月まで、開知尋常高等小学校（現世知原小）に在職されています。在職期間は、合計20年1か月となります。現在の教職員異動の仕組みでは考えられない長さです。住所も世知原村とされており、公私ともに郷土のために尽くされた先生だと思えます。

寄贈された柱時計は、昭和時代には、鉄筋校舎の「校長室」あるいは「玄関」に飾られていて、時間が来ると「ボン」と重々しい音が聞こえていました。現在、動かそうと試みたところ、ばねがはじけていて動かすことができませんでした。何とか、修理したいと思えます。

世知原地区育成会主催 門松作り・餅つき大会、お疲れ様でした。

12月17日(日)、世知原小学校玄関前通路におきまして、「門松作り・餅つき大会」が開催されました。育成会会長さんのあいさつの中で、「絶好の餅つき日和です。みんなで協力して、門松作り、餅つきを行いましょう」とのお話がありました。空から小雪が降り、お湯の湯気がもうもうと上がっていました。確かに、世知原での餅つきは、毎年、このような天気です。

餅つきは、小中学生が掛け声をかけながら、元気にもちをつくことができました。中には、杵を持つのが初めてで、どうするとよいのか、迷う子もいましたが、アドバイスを受けながら、たくさんの子が餅つきをしました。上級生がしていると1年生の女の子が「わたしもしたい。」と言ってくるほど、楽しい餅つきでした。終わりに、具沢山の味噌汁がふるまわれ、6年生の子供たちは大盛で食べていました。

小雪の舞う中、大人も子供も笑顔いっぱいの門松作り、餅つき大会でした。世知原地区育成会の皆様、前日の竹切り等の準備から片付けまで、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



☆☆☆☆実りある2学期でした。☆☆☆☆

2学期始業式で「開知の学びを目標に、みんなと学び、心を開き、挑戦する姿を行動で示しましょう。」ということをお子たちに話しました。2学期の日々の学校生活の中で、子供たちの開知の学びを実践する姿をたくさん見ることができました。実りある2学期でした。

○学習・文化面での確実な成果がありました。



- ・漢字計算検定の合格者が、大幅に増えています。漢字検定に向けて、何度も何度も漢字の練習をし、98点を獲得した子がいました。ところが、その子は100点でないことを悔しがっていました。
- ・自主学習に励む高学年の子供たちが多数見受けられます。6年生の自主学習ノートをものぞくと、見ていて楽しいものばかりです。日々の授業内容との関りを考えて、予習、復習をする質の高い自主学習ノートが見受けられます。

- ・俳句、感想画、感想文の入選者がたくさんいました。俳句には、世知原の子ならではの自然に対する鋭い感覚を感じさせる作品が多数ありました。

何よりも、日頃の学習において、子供たち同士で伝え合い、説明し合い、学び合いながら、クラス全員で学習に取り組んでいる光景をたくさん見ることができました。まだ課題はあるものの、子供たちの学習に対する意欲が高まっています。

○みんなで助け合いながら活動している場面が増えています。

- ・朝の始業前には、高学年が校庭掃除、あいさつ運動を頑張っています。下級生は元気に運動場でボールゲームをして遊んでいます。また、先生に大きな声で、あいさつしている子供たちがたくさんいます。子供たちの朝の時間の過ごし方が変わりました。運動場にあったゴミくずが、大変少なくなりました。
- ・縦割り班活動として、花いっぱい運動に取り組んでいます。これまで以上にたくさんのお花を植えており、卒業式や入学式が花で囲まれた小学校で行われることを期待しています。
- ・子ども浮立は、上級生が下級生をお世話する場面がありました。「あやとり」「ささら」は、1・2年生が参加しており、上級生が優しく教えていました。6年生のリーダーシップが、発揮されました。

○挑戦していることがたくさんあります。

- ・長崎県、九州、全国へと勝利を目指し、挑戦している子が多数いました。それを応援する子もいて、子供たち同士の絆を感じました。親元を離れて生活する通学合宿に挑戦している子供たちがいました。

学校生活の中でも、全校集会で司会や挨拶、発表にと、挑戦している子がたくさんいました。日々の学習においても、上手くできないことでも、くり返し練習をしたり、友達の説明を聞き理解しようとしたりする姿があり、大変うれしく思いました。

○保護者の皆様、地域の皆様、ご理解ご支援ご協力ありがとうございます。

- ・放課後子ども教室、赤木場館通学合宿、餅つき・門松作り大会の子供たちの参加者数が増えました。各担当者の努力とそれぞれの活動の充実の成果だと考えられます。

まだまだ、書き足りないほどの子供たちの「開知の学び」がありました。保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力、ご支援のもと、充実した2学期となりました。誠にありがとうございました。今後とも、子供たちが学校で存分に力を発揮できるよう、よろしく願いいたします。良いお年をお迎えください。

